

事務事業チェックシート

事務事業No 121 事業名 し尿処理施設適正管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	3	豊かな暮らしを支える住環境の整備
施策	4	生活排水対策の推進
取組方針	5	し尿及び浄化槽汚泥の適正処理

事業種別	継続		
事業期間	永年		
事業実施の根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	青岸清掃センター	永田 敦則	428-4153
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		清掃費	
	目		屎尿処理費	
	大事業		屎尿処理事業	
	中事業		し尿処理施設管理事業	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か 収集されたし尿及び浄化槽汚泥の全量を適正に処理し、住民の生活環境の保全を図る。		全体事業概要				
	平成24年度から老朽化したし尿処理施設「青岸工場」を運転しながら工事を行うスクラップアンドビルド方式で汚泥再生処理センターとして建替えた。新施設は、し尿及び浄化槽汚泥を安全かつ衛生的に処理するとともに、循環型社会の形成の観点から、発生する汚泥を含水率70%以下に脱水して助燃剤として隣接のごみ焼却場で再生利用し、廃棄物を資源として有効利用している。 (平成28年6月運転開始) また、運転業務については平成28年度から2年間の民間業務委託を実施し、平成30年度から新たに入札により決定した民間業者と5年間の長期継続契約による運転業務委託を開始している。						
事業内容		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
		し尿処理量 164,916.0kl 汚泥再生処理センター建設工事	し尿処理量 166,457.8kl 汚泥再生処理センター建設工事 (H28.6運転開始) (H29.3竣工)	し尿処理量 165,755.7kl	し尿処理量 165,756kl	し尿処理量 165,756kl	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	4,119,962	4,097,859	1,272,988	1,051,204	174,954	134,785	166,339	166,339	166,339	
伸び率(%)	-	-	▲69.1%	▲74.3%	▲86.3%	▲87.2%	▲4.9%	▲100.0%	0.0%	-
人件費										
正規職員	55,195	43,447	57,502	42,945	62,401	41,627	47,450			
正規職員以外	9,358	7,486	0	0	0	0				
小計	64,553	50,933	57,502	42,945	62,401	41,627	47,450	47,450		
国庫支出金	996,620	996,620	143,164	143,164	0	0				
県支出金	0	0	0	0	0	0				
市債	3,018,700	3,018,700	903,500	731,600	0	0				
その他	47	28	28,778	128	0	0				
一般財源(税等)	104,595	82,511	197,546	176,312	174,954	134,785	166,339			
所要人数(人)										
正規職員	7.42	7.30	7.30	5.40	5.40	5.22	5.22			
正規職員以外	4.76	4.76	0.00	0.00	0.00	0	0			
主な予算内訳	消耗品費69,255千円、光熱水費26,846千円、管理委託料64,825千円ほか									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	和歌山市全域から投入されるし尿及び浄化槽汚泥の全量を適正に処理する	kl	目標値					
			実績値	164,916	166,458	165,756		
			達成度(%)					
成果指標	施設稼働率(施設稼働日数/年間日数) * 100	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
			達成度(%)					
	水質基準達成率(基準達成回数/実施回数) * 100	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる		あまりできない	○	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	一般廃棄物の適正処理は地方自治体の自治事務であるため、計画どおり進める必要がある。
見直し・改善内容	今後も搬入されるし尿及び浄化槽汚泥の性状や量に対応しつつ、施設の維持管理に適切な措置を講ずるとともに、能率的な運営に努める。